



## スロベニア共和国

Republic of Slovenia

2007年10月現在



### 一般事情

- 1.面積 2万273平方キロメートル(四国とほぼ同じ)
- 2.人口 約200万人
- 3.首都 リュブリャナ(人口27万6千人)
- 4.言語 スロベニア語
- 5.宗教 カトリック
- 6.通貨 ユーロ  
為替レート 1ユーロ = 約166円(2007年11月現在)  
補助通貨単位 100セント = CENT/S

- 7.査証(ビザ)
- 8.在留邦人数 95人(2007年9月現在)
- 9.在日当該国人数 29人(2005年)
- 10.電源 V Hz
- 11.国際電話 国番号 386 国際通話コード 99
- 12.シガレット 小売価格 1.06 US\$ (20本当り)  
税率 61.0%  
製造数量 3,700 (百万本/年)  
シガレットメーカー

|                         |               |
|-------------------------|---------------|
| Tobacna Ljubljana d o o | ReemtsmaSeita |
|-------------------------|---------------|

### 13.略史

| 年月    | 略史  |
|-------|---|
| 6世紀末  | スラヴ人(スロベニア人)定住開始。<br>アヴァール王国等異民族による支配が続く。 |
| 1282年 | ハブスブルグ家の所領となる。以後1918年までハブスブルグ帝国領          |
| 1918年 | セルビア人・クロアチア人・スロベニア人王国                     |
| 1945年 | ユーゴ構成共和国の一つとして発足                          |
| 1991年 | 独立と主権を宣言                                  |
| 1992年 | EU各国等が国家承認                                |
| 2004年 | NATO加盟<br>EU加盟                            |
| 2007年 | ユーロ参加                                     |

### 14.在外大使館・領事館

在スロベニア日本国大使館  
Embassy of Japan in Slovenia  
Trg republike 3/XI, 1000 Ljubljana, Slovenia  
Tel: +386-1-200 8281 又は 8282 Fax: +386-1-251 1822

### 15.駐日大使館・領事館

スロベニア共和国大使館  
Embassy of the Republic of Slovenia in Japan  
〒107-0062 港区南青山7-14-12  
電話: 03-5468-6275

### 政治体制・内政

- 1.政体 共和制
- 2.元首 ヤネス・ドルノウシェク大統領(2002年12月就任、任期5年)
- 3.議会 2院制
- 4.政府 民主党を中心とした中道右派政権  
ヤネス・ヤンシャ首相(2004年11月就任)  
ディミトリ・ルーペル外相(2004年11月就任)
- 5.内政

1990年に旧ユーゴ内スロベニア共和国において初の複数政党制による選挙が実施され、その結果、民族主義的色彩の濃い民主連合政権が成立。

1991年6月、独立を宣言、これに伴い旧ユーゴ連邦軍との間で10日間の武力衝突が発生。ECの調停により停戦が成立し、EC諸国は、1992年1月以降国家承認した。

1992年12月新憲法の下で初の大統領及び議会選挙が実施され、クーチャン大統領が当選、自由民主党を中心とする4政党からなる大連立内閣が成立。

1996年11月第2回目の議会選挙では自由民主党、人民党、年金者党による連立内閣が成立。2000年4月人民党が連立を離脱、人民党閣僚を解任した改造内閣が信任されず政治の空白が2ヶ月続いた後、6月人民党、社民党を中心とする新たな連立内閣が発足した。

2000年10月に第3回目の議会選挙が行われ、自由民主党が第一党になり、社民連合リスト、人民党・キリスト教民主党連合、年金者党と共に中道・左派の連立政権を発足させた。

2004年10月に行われた総選挙では自由民主党を中心とした連立与党が敗北、野党であった民主党が勝利を収め、新スロベニア、人民党、年金生活者党と連立協定に調印、過半数を獲得し、ヤンシャ党首が首相に就任し、ルーペル外相も返り咲いた。

## 外交・国防

### 1. 外交方針

EU加盟を外交の最重要目標とし、1996年6月EUとの欧州協定を署名、1999年2月発効。1998年3月EUとの加盟交渉が開始され、2004年5月EU加盟を果たした。また1992年3月にOSCE(2005年議長国)に、同年5月に国連に加盟。1998年1月より安保理非常任理事国(2年間)。隣接地域安定の観点から、南東欧安定化プロセスに積極的に協力。2008年前半にはEU議長国を務める予定。

### 2. 軍事力

- (1) 予算 5億1,130万ユーロ(2007年)
- (2) 兵力 約7,349人(2007年)  
2004年3月、NATO加盟。

## 経済

- 1. 主要産業 自動車等輸送機械、電気機器、医薬品、金属加工、観光
- 2. GDP 297.4億ユーロ(2006年)
- 3. 1人当たりGDP 15,167ユーロ(2006年)
- 4. 経済成長率 5.7%(2006年)
- 5. 物価上昇率 2.8%(2006年)
- 6. 失業率 6.0%(2006年)
- 7. 貿易額・貿易品目(2006年) (1) 輸出 167.6億ユーロ(自動車等輸送機械、電気機械類、医薬品)  
(2) 輸入 183.1億ユーロ(自動車等輸送機械、鉄鋼、電気機械類)
- 8. 貿易相手国 ドイツ、イタリア、クロアチア、オーストリア、フランス
- 9. 通貨 ユーロ
- 10. 為替レート 1ユーロ = 約160円
- 11. 経済概況

スロベニアは旧ユーゴの先進工業地域であり、基本的に経済的基盤は整っていた。1992年のユーゴ紛争による市場喪失からマイナス成長に陥ったが、その後市場経済化、西欧諸国との関係強化に力を注ぎ、1993年より成長率はプラスに転じた。

2006年の1人当たりのGDPは15,167ユーロであり、EU新規加盟国の中で最高水準にある。1994年10月にGATT、1996年1月にCEFTAに加盟し、現在OECDに加盟申請中。対EU貿易が3分の2を占める。

2007年1月にユーロ参加。

## 経済協力

### 1. 我が国の援助実績

技術協力実績 4.72億円(2004年度末まで)

- (1) 研修員受け入れ 92名
- (2) 専門家派遣 7名
- (3) 調査団派遣 40名
- (4) 機材供与 853万円
- (5) 開発調査 1件

EU

### 2. 主要援助国

## 二国間関係

### 1. 政治関係

我が国は、1992年3月17日にスロベニアを国家承認し、同年10月12日に外交関係を開設した。

その後、1993年7月より在オーストリア大がスロベニアを兼轄し、2006年1月在スロベニア大使館を開設した。

一方、スロベニアは、1993年2月在京大使館を設置し、1995年12月初代在京大使が信任状を捧呈した。

我が国では1996年日・ス友好議員連盟が発足(会長:保岡興治衆議院議員)。

スロベニアでは1995年ス・日友好議員連盟を結成(会長:アントン・コカル国民議会議員)。

### 2. 経済関係

- (1) 日・スロベニア貿易額・品目(2006年、財務省貿易統計)  
対日輸入 142億円(自動車、二輪自動車等)  
対日輸出 51億円(木材、原動機、スポーツ用品等)

### 3. 文化関係

- (1) 1995年秋にリュブリャナ大学に日本語コースが開設。
- (2) 平成8年度より国費留学生の受け入れ開始
- (3) 1994年12月、仙台市中心の日・ス友好協会が設立され、2001年4月、全国規模の日・ス友好協会(会長:相沢英之元議員)が発足した。

4. 在留邦人数 95人(2007年9月現在)

5. 在日スロベニア人 29人(2005年)

6.要人往来  
(1)往

| 年月       | 要人名                                   |
|----------|---------------------------------------|
| 1997年10月 | 経団連ミッション(樋口経団連副会長)                    |
| 2000年10月 | 清子内親王殿下                               |
| 2001年9月  | 原田昇左右友好議連会長                           |
| 2004年9月  | 荒井外務政務官                               |
| 2005年12月 | 塩崎外務副大臣                               |
| 2006年1月  | 山中外務大臣政務官<br>保岡興治友好議連会長<br>相沢英之友好協会会長 |
| 2006年7月  | 中野厚生労働副大臣                             |
| 2006年8月  | 北側国土交通大臣                              |
| 2006年11月 | 武見厚生労働副大臣                             |
| 2007年7月  | 松島みどり外務大臣政務官                          |

(2)来

| 年月       | 要人名                  |
|----------|----------------------|
| 1992年2月  | ルーベル外相               |
| 1992年6月  | タンツィグ科技相             |
| 1993年10月 | クラチューン副首相兼経済相        |
| 1994年4月  | ターレル議会外交委員長          |
| 1996年4月  | ウメック科技相              |
| 1996年10月 | デジェラク経済関係開発相         |
| 1997年10月 | ドラゴニャ経済相             |
| 1998年9月  | フルレッツ外相              |
| 1998年12月 | マリンチェック科技相           |
| 1999年2月  | シュビレティッチ友好議連会長       |
| 1999年3月  | スモルコリ農林相             |
| 2000年3月  | ボドブニック国民議会議長、ペトリン経済相 |
| 2004年2月  | カチン国民議会外交委員長         |
| 2006年8月  | ズヴェル教育スポーツ相          |
| 2006年12月 | アントン・コカル友好議連会長       |

7.二国間条約・取極

1994年2月、旧ユーゴ政府との間で締結された通商航海条約、科学技術協力協定、文化協定等の承継を確認するための口上書交換。

8.外交使節

スロベニア駐箚日本大使 飯山常成特命全権大使  
日本駐箚スロベニア大使 ミラン・チュプコビッチ・スケンデル特命全権大使